



STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ2014推進ニュース

「社会保障の解体は許さない! 介護保障制度の抜本改善を!!」

-今年も介護の“Big Wave”をおこそう!

154862 筆

介護保険改悪STOP! 3.12国会行動を行いました

20 県連から 119 名の参加でした。東京からは、たくさんの友の会の会員さん、共同組織の組合員さんも参加されました。また、国会行動初参加の職員も 4 割ほどいました。「議員への陳情行動ってどんなことをするの?」と初めは緊張感でいっぱいでしたが、自分たちの集めた署名が、議員に手渡されるのを見て、利用者さんの思い・現場の実態を伝える大切さを実感し、「また参加したい!」、「職場や共同組織と一緒に情勢をきちんと学び、介護ウェーブへの参加を呼びかけたい!」と決意を新たにしました。



◇行動の様子

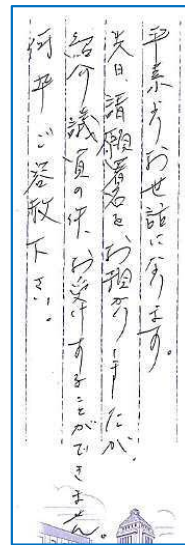
小池晃議員 (日本共産党・元民医連医師) が署名の受け取りと挨拶に来てくれました。↓

議員 104 名の訪問を予定し、本人に会えたのは 7 名、秘書対応は 89 名、不在でポスト投函が 6 名、「会議中だからポストに投函して」との対応が 1 名 (石原議員/自民党)、受付で面会拒否が 1 名 (松島議員/自民党) でした。紹介議員を快く引き受けていただいたのは 4 名 (阿部議員/無所属、笠井・吉良・志位各議員/日本共産党)、署名を受け取ったのに、「やっぱり紹介議員になれません」と次の日に送り返してきた方は 1 名 (中川議員/自民党) でした。



◇参加者の感想と各地の取り組み

東京/厚生会友の会は 25 名 6 班で、37 名を訪問しました。友の会のみなさんは、議員の部屋へ堂々としていき、言いたいことをしっかりと主張、面談がとても上手で参考になりました。「継続的に要請を行い、圧力をかけていくことが重要。行動を確信にして、実態を伝えていきたい」との感想が出ました。 **東京/ほくと医療生協共同組織**では、4 年目の職員が初参加でした。若い職員の参加はうれしいので、「次も誰かを誘って」とお願いしました。 **三重**は 4 人で 11 人の議員を廻りました。三重社保協が実施した「総合事業の実施計画調査」で、14 市町村中 10 市町村が「実施不可能、判断不可」と回答した結果を議員に伝えました。事前に電話でアポをとっておいたためか、丁寧に対応してくれました。 **長野/ゆいの里**から 3 名、**塩尻協立病院**から 2 名の参加でした。ゆいの里では、100 人の職員で署名を 5000 筆以上集めました。一般の人たちにも介護の改悪を知ってほしいと、職員が講師になり、地域で何度も学習会を行いました。 **神奈川/うしおだ**からは、初参加でしたが、千葉からの参加者に議員要請のしかたを教えられながら廻りました。 **東京 (住所は千葉)/東葛病院友の会**は、3 月 4 日に千葉市に要請を行いました。共産、社民党は要請内容に賛成してくれました。介護保険改悪への反対の声は多いと感じています。 **千葉**は、県連の介護部会を中止して 8 名参加しています。予防影響調査を 93 事例集めて、2 月 5 日に記者会見を行いました。また、今まであまり出来ていなかった駅頭宣伝を介護職中心で実施できました。事例から出発することで行動に取り組めたので、今後も事例を大切にしていきたいです。 **山梨**では、社会保障について地域で一緒に考えるための連携シンポジウムを開催しました。自分は地域包括支援センターの職員ですが、予防給付の切り離しに対して、「どうしたらいいか」と逆に市から相談されている状況です。民医連外の事業所や地域包括支援センターも危機感を持っているため、今回の「改定」を一緒に学んでいきたいと思えます。国会は遠い存在でしたが、改悪を不安に思っている利用者さんの



↑中三職友会 代表の川村

北海道	6,992
青森	0
岩手	1,869
宮城	2,233
秋田	0
山形	5,276
福島	0
茨城	1,667
栃木	0
群馬	1,846
埼玉	11,662
千葉	2,180
東京	14,768
神奈川	6,240
新潟	2,572
山梨	2,786
長野	9,832
富山	1,939
石川	1,379
福井	3,183
岐阜	4,191
静岡	5
愛知	13
三重	0
滋賀	1,828
京都	6,051
大阪	17,193
兵庫	1,084
奈良	3,586
和歌山	1,059
鳥取	4,137
島根	1,344
岡山	8,745
広島	50
山口	1,427
徳島	2,296
香川	746
愛媛	2,737
高知	2,377
福岡・佐賀	6,293
長崎	2,917
熊本	1,829
大分	2,471
宮崎	1,321
鹿児島	1,708
沖縄	1,918
	1,112
合計	154,862

ためにも、署名などががんばっていきたいです。 **岐阜**の社保協が「総合事業実施意向アンケート」を岐阜、大垣など4市、407事業所を対象に実施しました。回収は60事業所で、そのうち34事業所が「反対・どちらともいえない」という回答でした。理由は受け皿の不明確さ、ボランティアの対応困難などで、「事業所の死活問題である」というコメントもありました。利用料の2割負担や、補給給付の改悪についての質問には、「お金を持っている人は2割でもよい」との回答があり、応能負担や必要充足の原則を学ばないと、マスコミに言われるままになってしまうのを痛感しました。 **埼玉**は8名参加です。“1万筆のアクションプラン”を作成し、4つの地域、120名の参加で駅頭宣伝を行い、12000筆集めることができました。はじめて参加した職員からは、「学習会で介護改悪のことを現場の職員に伝えたい。他の職員も国会へ連れてきたい」の感想が出ました。 **石川/やすらぎ福祉会**からは、特養待機者家族会の事務局が参加しています。家族会で発行しているニュースや地域包括ケアへのパブリックコメントも議員へ渡しました。「保険料を払っているのに特養に入れない」など制度の矛盾を多くの人が感じていることを伝えることができてよかったです。 **福岡**は、福岡出身の議員へ事前にアポを取ってきました。ケアマネジャーが介護の現状を訴えると、「要支援1、2とは生活保護のことですか？」と対応した秘書がいました…。みんなの党の議員とは、20分も懇談でき、現場の実態、つらさを伝えることができました。地域では、8市町村との懇談会を実施し、総合事業の困難さや介護職不足について一致できました。「調査をしてくれてありがとう」との声もあり、地元の議員には自治体の実態も伝えていかないといけないと感じています。 **宮城**からは、4人の参加です。震災3年ですが、仮設住宅暮らしで医療にかかれぬ人もいることを議員に伝えてきました。 **大阪**は7人参加です。民主党の議員の所で、「時間がないから15分後に来てくれ」と言われ再訪問すると、親身に話を聞いてくれ、収穫がありました。大阪の介護ウェブには180人が参加し、署名を17000筆を集めました。 **兵庫**と**滋賀**の4人で訪問しました。署名がこんな風に国会に届いていることが分かったので、職場に伝えたいと思います。 **京都**からは3人参加です。今回の改悪は、現場の状況など顧みず財源面から、適正化が必要だとしています。紹介議員になってくれた穀田議員（日本共産党）は、「民主党の意見はフラフラしている。ぜひ現場の声を他の党にも伝えて、振り向かせないといけない」と言われました。現在京都府知事選が行われていますが、地方から国を変えていく一端として、全国からの応援もお願いします！



各事業所・県連にある署名は、4月19日までに全日本民医連事務局まで届くようにお送り下さい。

☆4月24日スケジュール☆

- 10:30～ 民医連国会集中行動 in 衆議院第1議員会館
- 12:30～ “輝け！いのち” 市民大集会 in 日比谷野外音楽堂
(衆議院議員会館から電車で1駅約15分で着きます)
- 13:30～ 国会請願パレード (国会議事堂に向かいます)
- 14:30～ 国会包囲ヒューマンチェーン (国会議事堂を囲みます)
- 15:30 終了予定

介護改悪反対
署名15万5000人提出
全日本民医連、小池議員に手渡す

会（全日本民医連、藤本、小池議員に手渡し）は12日、要支援者の保険外など介護保険の改悪と医療の削減を一体的に「医療・介護総合推進案」の廃案を求め、国会議員を要請しました。また、議員要請で職員会要請をおこないました。全国から職員や、患者などがテレビを利用して、なごめる共同組織の人たち112人が参加。約15万5000人の介護保険を小池議員、全日本民医連事務局、小池議員に手渡す旨の署名を提出しました。

全日本民医連 国会行動

介護改悪反対 署名15万5000人提出

全日本民医連、小池議員に手渡す

署名を小池議員、全日本民医連事務局、小池議員に手渡す旨の署名を提出しました。

全日本民医連 国会行動

介護改悪反対 署名15万5000人提出

全日本民医連、小池議員に手渡す

赤旗新聞一面に掲載されました。

全国から集まった影響調査の結果（『介護保険2014年「改正」への疑問』パンフ）です。予防給付の訪問介護がヘルパーなしでは生活できない人たちを支え、通所介護が家族を支えているのがよく分かります。これを使って、ぜひ自治体に実態を伝えてください！自治体も現場の声を待っています！ by 山田副会長



お問い合わせは、「介護ウェブ推進本部」事務局：諏佐・山平

☎ 03-5842-6451 / fax 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp